



院内広報誌

こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

- ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~olkawahp/>
- Eメールアドレス olkawahp@ca.mbn.or.jp

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

No. 5 2005年3月 発行

基本理念

及川病院のめざすこと、その役割と大切なこと

親切

私たちは親切な対応とわかりやすい説明を心がけ、患者様の身になって行動しています。

信頼

私たちは患者様の一日も早い快復、社会復帰を願い、信頼され、心の通い合う医療に努めています。

専門

私たちは乳癌の診断から治療、緩和ケアまでを担う専門病院として、女性の生涯にわたる心身の健康を総合的に守ります。

進歩

私たちは常に新しい医療・療養環境を学習し、分析・反省を繰り返し、より優れた医療の提供を目指し進歩し続けます。

「日本医療機能評価機構認定病院になりました」

院長 及川 達司

当院は平成16年9月27日、日本医療機能評価機構の認定施設となりました。医療機能評価とは、医療機関が提供する医療サービスの適正さを学術的観点から中立に第三者が評価し、質の高い安全な医療が国民に等しく提供されることを目的として作られた制度です。従ってこの評価を受けるということは、患者様方におかれましては安心して受診していただく指標となり、また私たち医療スタッフにとりましては今より更に質の高い医療の提供を目指すステップになります。今後も常に現状を見直し、望まれる医療の探求に力を注いでまいりたいと考えております。

また、「緩和ケア病棟「リーヴル」も開設以来お問い合わせも大変多く、緩和ケアが持つ責任の重さを感じているところであります。痛みや苦痛から解放される「自由」を得て患者様の「生きる」とご家族の「ともに生きる」を支えるための場所。及川病院のホスピス「リーヴル」はフランス語の「Libre」（リーブル・自由な）と「Vivre」（ヴィーヴル・生きる）を重ね合わせた造語で命名いたしました。患者様の人生を、微力ですがどれだけ支えられるか、それが私たち医療スタッフの命題だと考えております。



福岡市の乳がん検診の内容にマンモグラフィ検査が追加されます

従来、福岡市の行う乳がん検診は問診と視・触診のみでしたが、平成17年4月より40歳以上の方の検診にはマンモグラフィ検査が追加されます。

マンモグラフィとは

乳房専用のX線撮影装置のことで、視・触診ではわからなかったり良性・悪性の判断をつける場合などに大変有効です。

当院では最新のマンモグラフィ装置と精度管理中央委員会のA判定の認定を受けた放射線技師が撮影し専門医が読影いたします。

詳しくは受付にてお尋ねください。

第三回 乳 癌 の 発 生 (1)

顧問

野村雍夫

ヒトの発癌のメカニズムが次第に解明されています。乳癌も他の臓器の癌と同様に、がん遺伝子（オンコジーン）とがん抑制遺伝子の突然変異が重なったことによる（多段階発癌）と考えられています。発癌の因子として、多くの化学物質や放射線などが知られていますが、それらの大部分は突然変異原でもあります。変異原のすべてが発癌因子ではありません。発癌剤により引金をひかれた（イニシエーションといいます）細胞の集まりは、他の物質により臨床的に検出される腫瘍の大きさにまで促進されます（プロモーションといいます）。このプロモーションの過程に働く物質は、多くの場合、それ自体は発癌性をもたず、また突然変異誘発作用ももちません。

乳癌の場合には子宮内膜癌などとともに、ホルモンの因子が発癌に深くかかわっていることが特徴です。

多くの実験的、疫学的研究によるとエストロゲン（卵胞ホルモン）およびプロゲステロン（黄体ホルモン）が乳癌の発生に重要な役割を演じることは明らかであります。これらのホルモンの役割は次のように考えられています：1)それ自体が刺激ホルモンとして正常の乳腺上皮細胞の増殖を刺激し、発癌剤に感受性のある細胞群を増加します。イニシエーションにより引金をひかれた悪性の乳腺上皮細胞は、プロモーションにより臨床的に検出される腫瘍の大きさにまで増殖し、さらに湿潤癌に進展します。つまり、これらのホルモンは発癌のプロモーションをおこします。

2)エストロゲンは代謝されてカテコール・エストロゲンやキノンに変換されて、遺伝毒性を発揮し、DNA損傷とその結果としての突然変異を起こし、イニシエーションの過程で発癌剤として働きます。すなわち、エストロゲンは発癌の2つの過程に関わります。

乳癌の発生に関与するエストロゲンは内因性または外因性であり、前者は閉経前では卵巣から分泌され、閉経後では副腎からのアンドロゲンが末梢組織でエストロゲンへ変換することによります。最近では乳腺組織でのアロマターゼという酵素によるアンドロゲンからエストロゲンへの変換が重要視されています。

外因性のエストロゲンは閉経前では主に経口避妊薬であり、閉経後ではホルモン補充療法であります。最近では植物ホルモンや環境ホルモンにも関心が持たれています。

次回は乳癌のホルモン発癌の証拠と乳癌の危険因子について述べます。

肩こり体操

寒さのため体が丸く姿勢が悪くなり、常に肩に力が入っていませんか？

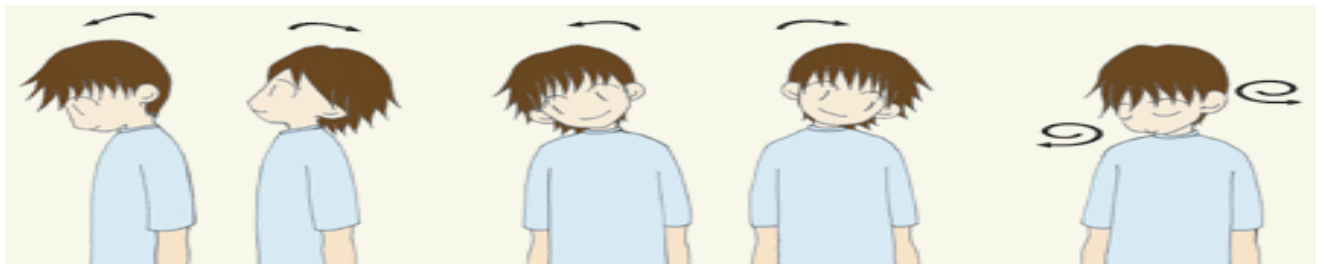
長時間の作業や体の冷え、ストレス、運動不足などが原因で首や肩の筋肉が緊張し血液循環が悪くなり、筋肉の疲労物質が蓄積され肩こりになります。そこで簡単にできる肩こり体操を行ってみましょう！



1. 肩を上げ下げする

2. 肩を前回し後回し

3. 手を組んで上に伸ばす



4. 首を前後に曲げる

5. 首を左右に曲げる

6. 首を右回し左回し

※ 毎日2~3回（朝・夕）、10回ずつ行いましょう！
正しい姿勢、適度な休養、運動を心掛けましょう！

あなたの知りたい世界

Q ホスピスって何？ どんな場所？

A これまでの医療は、治癒させることに専念するあまり治癒できない場合の対応がほとんど考えられていませんでした。「検査→診断→治療→延命」という4つの働きが近代病院の目的と考えられてきたからです。しかし、たとえば症状の進行した癌患者様の何割かが直面する激しい痛みや息苦しさ、変化する症状への不安に対してはこの4つの流れのなかで対応するには限界があります。このような状況下におかれた患者様の痛みと不安を何とか和らげてあげたい、それがホスピス誕生の理由でした。私たちは、ホスピスケアについて「その人がその人らしい人生をまっとうすることができるよう援助すること」と考えています。その為、ホスピス病棟とは「患者様が家にいるときと同じように充分にその人らしさを大切にしながら何か必要があるときにはいつでもサポートを受けることができる場所、なおかつ専門家やボランティアが周りにいて、何か必要があるときにはいつでもサポートを受けることができる場所」ということになると思います。

詳しいホスピス病棟、ケアについては、当院 092-521-5300（緩和ケア相談室）までお問い合わせください。

看護部

ザ・レインボ Book

今回紹介する本は、奥田英朗氏の「空中ブランコ」「イン・ザ・プール」です。精神科医伊良部のもとを訪れた悩める者たちは、その精気に驚き、呆れ、どっちが患者なのかと思うほど。「王子税務署前」の表札を「玉子税務署前」に書きかえたり夜のプールにしのび込んだり、トイレの水道を止めたり、人を深刻にさせないおもしろい精神科医と患者のストーリーです。

花粉症あれこれ

花粉症は特定の植物の花粉に対して過剰に反応してしまうアレルギーです。

このアレルギーは私たちの免疫に関して起こる反応です。

通常体内には異物が入り邪魔なものと判断すると体外に出してしまおうとする能力が備わっています。花粉症では異物【抗原】にあたるのが花粉で、異物を追い出そうと作られる物質が【抗体】（免疫球蛋白IgE）となります。花粉が毎年体内に少しずつ侵入し続け、何年もかけてIgE抗体が作り続けられ、ある一定量を越えると突然鼻の粘膜にある肥満細胞の抗体と結びつきヒスタミンやセロトニン等々・・・という化学物質が作られ、今までとは違った症状を起こしてしまいます。その結果、鼻粘膜に付着した花粉という異物を体外に出そうとしてくしゃみや鼻水が出るのです。IgE抗体がどの位蓄積すると発症するかは個人差があり、明確ではありません。大気汚染がひどい地域、特にディーゼル車の排ガスが多い地域には花粉症患者が多いと言われています。通常は体を守ってくれるはずの免疫が花粉などの本来免疫が活動しなくても良い部分で活動してしまうのです。昔は寄生虫などに対して働いていた免疫が現代では働く場所を失い花粉にまで反応してしまうようになったとも言われています。

花粉症を起こしやすい植物

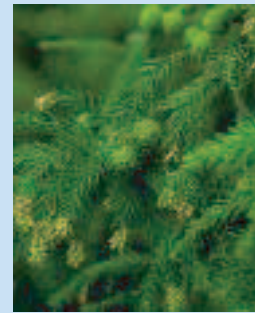
地域やその年の気候によって変わってきます。スギは暖冬の年には早くから花粉が飛び始めると言われています。

春～初夏（2月から8月始め頃まで花粉が飛ぶ植物）

スギ、ヒノキ、シラカバ、アカマツ、クロマツ、ケヤキ、イチヨウ、コナラ、クヌギ、ハンノキ、モモ、クルミ、カモガヤ、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、オオアワガエリ、ホソムギetc.

夏～秋（8月～10月頃まで花粉が飛ぶ植物）

イネ、ススキ、ギョウギシバ、ブタクサ、ヨモギ、カナムグラetc



つくしの卵とじ

材料（4人分）

| | |
|--------|------|
| つくし | 120g |
| 油揚げ | 8g |
| サラダ油 | 8g |
| 濃口しょうゆ | 12cc |
| 薄口しょうゆ | 4cc |
| 砂糖 | 8g |
| 酒 | 4cc |
| みりん | 4cc |
| 出し汁 | 40cc |
| 卵 | 4個 |



作り方

- ① つくしのはかまと孢子穂を取って、ゆでる。
- ② 油揚げとつくしを適当な大きさにカットする。
- ③ 鍋にサラダ油を熱して、つくしと油揚げを軽くいためる。つくし全体に油がなじんだら、OK
- ④ 出し汁を入れ、ひと煮立ちしたら、酒、砂糖、みりん、醤油で味付けをし、7～8分位煮る。
- ⑤ 割りほぐした卵をまわしかけ、蓋をしてひと煮立ちさせて、完成。

※ 選び方

茎は節と節との間が短く、頭がよくしまったものがよい。

※ 栄養

ビタミンA、ビタミンB₁ B₂、ビタミンC、サポニンを含み、利尿、鎮咳効果がある。

『すみれの会』たより

毎月第3土曜日午後1時30分より患者同士の交流会を開いています。ちょっとうれしかったことなど、毎回いろいろなおしゃべりを楽しんでいます。先生方にも参加していただき、日頃聞けないことなどに答えいただいたりもしています。ぜひ、ご参加ください。

今後の予定表

3月19日
4月16日
5月21日
6月18日
7月16日



※変更、特別な催しがある場合は掲示板にてお知らせいたします。

場所 及川病院 3階 談話室
時間 13:30～15:00
会費 500円(当日徴収します。)